

+幸せを求めるあなたへ

危機脱出ナンバーワン! number one

本当に重要なことは、目に見えない基礎 全世界が経済危機で疲弊しているこの頃、比較的揺れない国があります。それは、ドイツです。1990年10月3日、公式に東西ドイツが統一されてから18年が過ぎました。数年間、投入された多額の統一費用で「ヨーロッパの患者」とも呼ばれたのですが、18年が過ぎた今、過去の東ドイツのレベルは、西ドイツの85%まで回復していると言われております。世界経済力3位を維持しているドイツが、パニック状態のような経済危機にもよく耐えている理由は为什么呢。専門家たちは、24%に達する国民貯蓄率と、70%に達する賃貸住宅普及による不動産価格に対する根本的な安全性、95%の中小企業の安定した定着、75%に達する労使間の協力の比率、伝統製造業の競争力強化と先端分野の新しい成長動力の拡充に対する投資だと指摘しました。一言で、見えない基本を堅くしているからだということでしょう。1931年に完成された102階、448.7mのニューヨーク、マンハッタンのエンパイアステイトビルディングには、地階がないという事実を知っていますか。1945年B25輸送機が79階に衝突して、14人の死者が発生した時にも建物は何の問題もなく、今まで健在しています。理由はただ一つ、マンハッタンの地下街は、巨大な岩盤だという事実です。ゴルフ選手たちは、スランプになったら、ゴルフのグリップを持つ、最も基礎から、もう一度、練習を始めるということです。私は今、どこに私の人生の基礎を置いているのでしょうか。「雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけたが、それでも倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです」(マタイの福音書7:25)

人生を回復させる真の基礎 私の人生の基礎が運命と運勢ならば、私の残りの生涯はどうなるでしょうか。いったい運命と運勢は、いつ、どこから出てきたのでしょうか。聖書は、人間が神様を離

れる瞬間、サタンの手掌握されて、サタンがもたらす運命と運勢に縛られた生活を送るようになったと明らかにしています。その時から、人間は自分も知らないで、悪魔の子どもになって、理解できない霊的問題に捕らわれるようになりました。生きていくほど、成功と失敗と関係なく、反復するのろいと災いに苦しめられるようになりました。だから、偶像を求めて平安を祈って、イワシの頭をひいらぎに刺したり、お守りやお札をつけたり、占いやスピリチュアルカウンセリングに、はまっていくのですが、むしろ不安とうつ病、不眠症、幻聴や悪夢は増えていきます。生活が裕福になっても、それと関係なく病気がまん延していて、教育のレベルとは関係なく家庭と学校教育は崩れていっており、人生のむなしさの中で「無差別殺人」や「引きこもり」が急増して、青少年の墮落と暴力性は日に日に増しています。結局、仕方ない死の前で、悪魔が行かなければならない永遠な地獄の苦しみの中に陥るようになって、私が受けている苦しみとのろいが、家系の子どもに相続されるしかない、みじめな人生のくびきを負うようになってしまいました。

このように生きていきたいのでしょうか。神様がイエス・キリストをこの世に救い主として送られたのは、他の理由ではありません。もう一つの宗教を作って、宗教間の混乱を起こそうとして来られたのではありません。とうてい人間が解決できないサタンがもたらす霊的問題とその権威、地獄の権威、反復するのろいと災いをもたらす罪の権威をうち破って、人間の幸せの最高の奥義である神様の子どもになる唯一の道を開こうと来られたのです。「こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです」(ローマ人への手紙8:1-2)今、イエス・キリストを信じて自分の心に受け入れれば、神様の子どもになって、あなたの過去、現在、未来のすべての問題を解決できます。イエス・キリストは、あなた人生の崩れない永遠の岩なのです。

Happy You 幸せな人

幸福な人の人生法則

「グッド・マン」という本で私たちに知られている、トッド・ホプキンス(Todd Hopkins)は、「幸せな人」という文章の中に、幸せな人の人生法則五つを紹介しました。「最初に、私自身の計画でなく、より大きい神様の計画に従いなさい。二つ目、目の前の甘いニンジンと神様がくださった真の幸せを区別しなさい。三つ目、神様を箱に閉じこめてはならない(エペソ 3:20)。四つ目、神様の計画に従う時は絶対的に献身しなさい。私たちは、ビジネスでも家庭でも、神様の計画に従う時にはいいかげんにしてはならない。それが真のクリスチャンだ。五つ目、神様と取り引きしてはならない。神様は条件をおいて愛される方ではない。」

重職者の人生法則

それなら、暗やみの働きで墮落して滅んでいく現場に、福音の光を照らす灯台(Lighthouse)として呼ばれた重職者は、どんな人生を送らなければならないのでしょうか。

最初に、肉的なことを悩む教会現場に弟子として立たなければなりません(使徒 6:1~7)。二つ目、苦しみを受ける人生のサマリヤの現場に、証人として立たなければなりません(使徒 8:4~8)。三つ目、解答を分からずにさまよう人生に、見張り人にならなければなりません(使徒 9:1~43)。四つ目、神様の恵みを待つコルネリオのような備えられた者に、解答の伝達者として行かなければなりません(使徒 10:1~6)。五つ目、現場の隅々に霊的問題に苦しめられるエリートを生かすローマ 16章の主役になるべきです。六つ目、未来を生かすために準備された次世代(レムナント)の土台にならなければなりません。七つ目、これを置いて、今から民族福音化(日本)120万、世界福音化1千万弟子の絵をえがき始めなければなりません。神様の契約的な情念を成し遂げる重職者に、深い泉の恵みがあふれ出るようにお祈りします。

神様の子どもになる受け入れのお祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様は、十字架で死んで復活されて、私のすべての問題を解決されたキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いてイエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから神様の子どもになった祝福を味わいながら生きることができるようにならせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの中の五つの確信

- 救いの確信 イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって、救われました。(ローマ 8:15~16、Iヨハネ 5:10~13)
- 祈りの答えの確信 神様の子どもは、イエス・キリストの御名で何でも求めることができ、神様はみこころ通り、かならず答えられます。(ヨハネ 15:7)
- 導きの確信 神様は聖霊でああなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めて、導かれます。(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)
- 赦しの確信 あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決されたので、だれでも罪を告白して、悔い改めれば許していただけます。(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 勝利の確信 救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも、信仰で勝利できます。(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)

神様の子どもの中の毎日の祈り

父なる神様。イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられ、導かれていることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもとなった祝福を味わうように、聖霊に満たしてください。私の家庭と現場と行く歩みごとに、福音を邪魔して困らす、すべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題も、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見して、聖霊の導きを受ける人生になりますように。それで、私の生き方を通して、イエス様がキリストであることが宣べ伝えられ、私の現場に神様の国が臨みますように。毎日、私の生活の中で、神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利させてください。今も私とともにおられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

今、信仰ではじめれば良いのです

今、はじめてください チョ・ピョンファさんの詩のタイトルです。「することを思い出したら、今、してください。今日の空はきれいですが、明日は雲が見えるかもしれません。昨日はすでにあなたのことではないから、今、してください。親切な一言を思い出したら、今、話してください。明日はあなたのものではないかもしれません。愛する人は、いつもそばにいてはなりません。愛の話があるならば、今、してください。ほほえみを浮かべたいなら、今、笑ってください。あなたの友だちが離れる前に、バラが咲いて胸がときめく時、今、あなたのほほえみをください。歌わなければならない歌があるならば、今、歌ってください。あなたの太陽が沈めば、歌を歌おうとしてもとてもおそいのです。あなたの歌を、今、歌ってください。」信仰で何をはじめなければならないのでしょうか。

伝道企画+弟子企画+個人企画 最初に、重職者は、神様が与えてくださった契約を握って伝道企画チームをはじめなければなりません。まず、聖書と教会史の流れを正しく知って、正しい伝道を回復する主役にならなければなりません。今、現場には暗やみの中で救われるべき数十億人の対象者が待っています。そして、救われても確信がなくてさまよう信徒がたくさんあふれています。宗教を叫ぶこの時代に、正しい伝道である聖書にある伝道現場を回復しなければなりません。全世界の教会が律法に押さえられていて、とても弱くなっています。福音で、はやく立て起こさなければなりません。崩れていく次世代(レムナント)が、現実、問題、未来の前で、個人救いの確信と個人が聖霊に導かれる奥義と個人的な答えを見つけ出して、自分の長所とタラントを生かせるように、土台になってあげなければなりません。すべての産業人が起きて OMC(Oneness Mission Club)時代を開き、重職者時代を開いて、地域ごとに福音の光を照らして暗やみの文化を変えなければなりません。

二番目、弟子の価値を発見して、今から弟子の絵を描かなければなりません。福音が通じるキリストの弟子だけいれば、すべてを生かせます。モーセとアロン、ヨシュアとカレブ、遊女ラハブ、この五人を通して神様は出エジプトを試みられました。サムエルとダビデを通して、時代を変えられました。エリヤとエリシャを通して国を生かされました。パウロとテモテ、シラス、テトスを通してローマを福音化されました。この時、注意すべきなのは、私の動機、私の悩み(心配)、傷を捨ててしまわなければならないのです。弟子の事情を知って、弟子として確立されるように、後見人の役割をしてあげなければなりません。こういう中心を持った人に、神様はローマ 16 章 25~27 節に隠しておいた弟子、今、備えられた弟子、未来に起きる働きと弟子に会うようにされるでしょう。

三番目、みなさんが自分に真の祝福を受けるのか、そうでなければ滅びるのか、個人的な伝道企画チームを置いて祈りをはじめなければなりません。それが 5 人 1 組です。福音と伝道と弟子の中心だけ持っていれば、似た人に会うようになります。5 人 1 組になって、神様が最も望まれることをしている時、神様はかならず働いてくださいます。単なる出発ではありません。「イエスはキリスト!神様の国!聖霊充滿!」約束された神様の契約を握って挑戦するのです。「いのちの運動で世界を生かしましょう!」

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

3日(月)

私は力がないのに(使徒 1:8)
私たちに力がないのではなくて、福音の中ですでに受けたのに、見つけれないのです。約束を握って黙想と深い祈りの奥義の中に入れば、聖霊に満たされ、五つの力を受けるようになります。これが、私を越えて世界へ行くようにさせる神様の働きです。

4日(火)

霊的な目が開かれた人々(使徒 6:1~7)
霊的な目が開けば、問題と限界に陥らずに、使徒 1:1、3、8 節の奥義を持って、自分の壁を、伝道と宣教の答えを持って限界の壁を、今、答えの後に来る世界福音化の契約を握って未来の壁を越えられます。

5日(水)

ご自分のために祈られるイエス・キリスト(ヨハネ 17:1~5)
最大の危機に出会った時、イエス様が一番、偉大な祈りをされました。そして、さらに重要なのは、普段の時にいつも祈っておられました。私たちが神様の前で祈りながら、危機と苦難の中にある計画と、助けを発見したら、大きい答えを経験するようになります。

6日(木)

死を恐れない者(使徒 7:54~60)
ステパノはイエスがキリストであることと、神様の国、聖霊の満たしの契約を味わった人です。いのちをかけるだけのものを発見すれば、神様は聖霊に満たしてください、一時代の答えを味わうようにさせていただきます。伝道、宣教、レムナントという単語には、命をかけるほどの価値があります。

7日(金)

重職者時代と伝道(使徒 9:10~15)
正しい信仰生活は、神様がくださった福音を思いきり味わうことです。それならば、神様の働きを見て、神様の最高の関心の対象である伝道弟子になり、教会復興と教会祝福の主役として立てば良いのです。

8日(土)

重職者時代と宣教(使徒 13:1~2)
キリスト、神様の国と聖霊充滿、祈りの奥義を体験してインマヌエルを味わうことが、宣教の開始であり、方法です。それで、宣教に目が開かれた重職者、産業人、レムナントが立つように、重職者時代、OMC 時代、RUTC 時代を開くのです。

週間メッセージ

産業宣教 重職者時代のための男女伝道会の役割(ローマ 16:1~20)
伝道学 葛藤(6)個人が崩れる葛藤(Iサムエル 3:19)
核心訓練 弟子を分かる重職者(使徒 14:19-28)
聖日 1 部 マグダラのマリヤに現れたイエス・キリスト(ヨハネ 20:11~18)
聖日 2 部 世界を生かした初代教会のいのちの運動(使徒 2:1~13)



イラスト_ユン・スルギ

それほど山が好きなのではないが、北側のペクトウ山、クンガン山と、同じく、ソラク山、テベク山、トゥッタ山をはじめとして、チリ山と海の彼方のハンラ山まで、ペクトウ山脈をほとんど登ったので、だれかが見れば、登山マニアと言われるのに値するだろう。韓国の川と山は、とても美しいことに間違いはない。高くても、低くても、山にはかならず逸話があって、その道はどこでも絶景だと案内される。

人ごとに趣味がそれぞれ違う。ある者は山が好きで、時間さえあれば、山に登る。他の人に何と云われても、山がそこにあるから、結局、降りてこなければならぬ道に登って、また登るのだ。また、ある者は釣りを楽しむ。食べるためではなく、趣味を楽しむという理由だ。水の中に垂れた釣り糸が、ある一瞬、魚がかかったときにピンと引く感じから伝わる感覚の味は、妻が孤独だと言ったのを忘れさせるのに十分ほどの魅力的なことだという。

冬に風が冷たくなれば、その風を利用して凧を飛ばす。糸を解きながら、空の上に上がった凧が糸巻きを引き、そのピンと張るのを感じる時、凧が高く上がっているのを感じる。手に感じた、その引いた思い出が、凧をなくしてしまうことも忘れさせる。

韓国人の民俗遊びの中に綱引きがある。太い綱を長くして、両側に分かれた人々が、自分の側に綱を引くのだ。緊張する瞬間、開始の号令が鳴り響く前の、ピンと張った綱の感じは、まもなく手の平の皮がむける痛みがくるのを考えさせないようにする。

ピンと張っていますか？

ニュージーランドには、自動車の数ほどヨットがあるというのに、風に乗って倒れそうになって走るヨットは、帆がピンと張っていることをいのちだと感じる。避けなければならない風を、絶妙に受けて走る戦慄が、人々を海に追い立てている。

人生でもピンと張ることは、みんなの願いであるようで、価値の完成とも同じだ。人々は、ピンと張る緊張感を楽しむ。しかし、そのピンと張る緊張は、長引かない。ただ一瞬の短い期待に過ぎない希望なので、より一層、それを追求するかもしれない。

「顔色がよくて、ピンと張っているね」と挨拶するが、そのかわいらしさが、はたしてどれくらい長続きするだろうか。結局、化粧品屋だけが、喜ぶだけだ。今は、だれもが、いのちがピンと張ることを味わって生きる。しかし、そのピンと張ることが解ける時が、だれにでもかならず迫ってくる。ピンと張った思い出を考えても短く、私たちの人生はゆるんで、いのちの綱が垂れるようになってしまう。聖書は明らかに話している。あなたには、今が機会だ。福音が聞ける時間が今だ。だから、ピンと張っている時間に、創造者を覚えなさい。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらに連絡してください